



平成27年3月2日

各 位

会社名 森下仁丹株式会社
代表者名 代表取締役社長 駒村 純一
(コード番号4524 東証第2部)
問合せ先 取締役常務執行役員 武貞 文隆
電話番号 06-6761-1131(代表)

牛へのカプセル投与による高付加価値牛乳の生産技術の研究開発が
「農林水産業の革新的技術緊急展開事業」に採択
～ α -リノレン酸に富む高付加価値牛乳の新しい生産技術の実証～

森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区/代表取締役社長:駒村純一)は、地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所(大阪府羽曳野市/理事長:大河内基夫)、サミット製油株式会社(千葉県千葉市/代表取締役社長:喜多哲夫)と、牛へのカプセル投与による高付加価値牛乳の生産技術の研究開発を計画し、このたび平成26年度補正予算 農林水産業の革新的技術緊急展開事業(農林水産省)の研究開発課題として採択されましたのでお知らせいたします。

本事業は、農林水産業の活力創造を図るべく具体的な研究課題を特定し、実際の生産現場において、産官学が連携し、革新的な技術体系を導入する為の実証研究への取組を支援する補助を行うものです。

当社は、腸溶性シームレスカプセル技術を応用し、医薬品、健康食品の分野で製品を各種上市して参りました。その技術を発展させ、牛の反芻胃(ルーメン)での分解を避け、腸まで有効成分(ビタミン等)を届けることができるカプセル(ルーメンバイパス製剤)の開発に成功し、畜産分野での応用開発に取り組んでおります。

本採択研究では、そのままでは吸収されにくい必須脂肪酸である α -リノレン酸をカプセルに内包し、 α -リノレン酸に富む高付加価値牛乳の生産技術の実証を行います。この技術が確立されれば、ビタミンやプロバイオティクス由来の様々な有効成分を含む高付加価値牛乳生産に繋がり、酪農分野の市場拡大と健康増進に寄与するものと考えられます。

なお、本件による本年度の業績への影響は軽微と考えられますが、早期実用化を目指して、開発に取り組んで参ります。

事業名:平成26年度 補正予算 農林水産業の革新的技術緊急展開事業

課題名: α -リノレン酸に富む高付加価値牛乳の新しい生産技術の実証

期 間:平成27年2月~平成28年1月

研究機関:高付加価値牛乳生産研究コンソーシアム

(森下仁丹株式会社、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所、サミット製油株式会社)

以上